

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 高侵襲手術における脳波の経時的变化とサルコペニアとの関連についての検討

研究の目的

術後せん妄は術後の認知機能のみならず、在院日数や死亡率に影響する重要な合併症です。私達は以前当院で施行した前向き観察研究(承認番号 2018-052)で全身麻酔中の脳波の α 波成分が術後せん妄の予測に有用である可能性を報告しました。これまでサルコペニアと術後せん妄の関連については複数の報告がなされているものの、サルコペニアと麻酔時の脳波についての研究はありません。本研究では、その際に取得した脳波データを含む周術期データの二次解析を行い、高侵襲手術における脳波の経時的变化とサルコペニアとの関連についての検討することを目的とします。

研究実施期間： 2023年6月15日 ~ 2024年12月31日

対象となる方： 2018年9月1日~2021年6月30日の期間に弘前大学医学部附属病院で頭頸部・食道癌根治術を受けた患者様のうち、前向き観察研究「炎症がせん妄へ与える影響の検討」(2018-052)に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

既に取得している全身麻酔および集中治療管理中の脳波データから各周波数成分の経時的变化を検討します。その他に、術前の CT 検査から骨格筋量等を測定し、年齢や身長、体重、既往歴、周術期検査データ等を加えて単変量解析、重回帰線形解析、多変量ロジスティック回帰分析等を用いて統計解析し、サルコペニアと全身麻酔中の脳波の関連、術後せん妄の関連する因子の検討を行います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院集中治療部 木下 裕貴 0172-39-5113